

令和7年度第2回山形市上下水道事業経営等懇話会

【 会 議 録 】

日 時 : 令和7年11月20日(木) 午後3時15分～
場 所 : 山形市上下水道施設管理センター3階 研修室
出席者 : 國方敬司委員、田牧大祐委員、永井悟委員、石岡蘭子委員、斎藤一美委員
須貝稔委員、山口範夫委員、石井圭子委員、鈴木淳子委員、高橋梢委員
星野みち子委員
上下水道事業管理者
事務局 : 上下水道部長、総務課長、経営企画課長、業務課長、水道管路維持課長、
水道建設課長、下水道建設課長補佐、浄水政策課長、水運用センター所長、
浄化センター所長、雨水施設建設室長
経営企画課職員
傍聴者 : なし

<内容>

1 開 会

2 上下水道事業管理者あいさつ

今年度は7月に次いで、今回が2回目となります。皆様からご意見をいただき、今後の上水道事業の運営に活かしていきたいと思っております。11月発行の「上下水道部だより」では、前回の懇話会についてのトピックスを掲載しました。前回は昨年度に実施したWEBアンケートの結果をご説明しましたが、今年度もWEBアンケートを実施しておりますので、ぜひご回答をお願いいたします。

また、同じ「上下水道部だより」には、令和6年度の上下水道事業会計の決算も掲載しております。本日は上下水道事業会計の仕組みと、特に昨年の決算状況について、皆様にご覧いただきたいと思っております。さらに、山形市の上下水道料金が全国的にどのような位置付けになっているのかについても説明し、皆様からご意見を頂戴できればと考えております。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

3 意見交換

(1) 上下水道事業会計の仕組み

(2) 令和6年度上下水道事業会計の決算について

(3) 山形市上下水道料金の特徴及び他都市との比較について

【座長】

それでは、意見交換に入ります。委員の皆様からのご意見・ご質問等については、事務局からの説明が全て終わりましたら、まとめてお受けする時間を取らせていただきます。

では、「(1) 上下水道事業会計の仕組み」「(2) 令和6年度上下水道事業会計の決算について」および「(3) 山形市上下水道料金の特徴及び他都市との比較について」について、一括して事務局から説明をお願いいたします。

(1) (2) (3) については資料に基づき事務局から説明。

【座長】

説明ありがとうございました。せっかくですので、ご出席のみなさま全員からご意見やご質問を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

決算について質問ですが、長期前受金戻入について、これは実際には補助金でもらっているの、建設改良費などに一緒に使われたお金でしょうか。

【事務局】

はい、お金としては、資本的収支の建設改良費に使われたお金です。

【委員】

平成28年の実績で山形市では1kmあたりの管に対してメーターが82個、仙台市は140個とのことです。なぜ仙台市の方が、水道料金が高いのでしょうか。

【事務局】

まず、地域特性というのがあると思います。それ以外は事業の方針など、事業体でそれぞれに決めています。料金の範囲内でどのくらいお金を使うかは、事業体ごとに異なるので、一概に一つのことで比較するのは難しいと思います。

【委員】

同じ答えになるかもしれませんが、一方でなぜ仙台市は下水の料金がこんなに低いのでしょうか。

【事務局】

仙台市は下水道の整備を山形市より早く着手し、早く完成しています。おそらく借金も早く返し、大きい借金がなくなってきているので、現在は同期間の対応だけをしているような状況だと考えられます。ただ、具体的にどのような期間でどのくらい整備したかが分かりませんので、理由については難しいです。

【委員】

ご説明を聞いて、会計状況が大変逼迫しているということは分かりました。不足額が多く毎年不足しているということですが、留保資金はどのくらいあるのでしょうか。また、現在の料金で賄え

ない状況という説明もありましたが、値上げの予定もお聞かせいただけますでしょうか。

【事務局】

留保資金の額につきましては、水道事業で大体 40 数億円持っています。下水道の方では 30 億円程度、現在持っている状況です。値上げの時期ですが、不確定要素が多く、いつから値上げしなければならないのかは、まだ明確に出せていません。

【委員】

昨年に引き続き今年も猛暑ということで、ある地域では取水制限があったり、田んぼが干上がってしまったという話も耳にしています。山形でも一部そのようなところがあるとお聞きしていますが、制限なども無く大変ありがたく思いました。

他の地域のニュースで耳にしたのですが、水道メーターの盗難があったという件について、山形市ではメーターの防犯対策などはされているのでしょうか。

【事務局】

以前、米沢市の方で庁舎と離れた所の倉庫に置いていたメーターが、盗まれたというお話がありました。山形市では、交換する前のメーターをたくさん購入して保管していますが、倉庫にきちんと鍵をかけてメーターを管理しています。

【委員】

いろいろご説明いただきありがとうございます。これからも健全経営に努めていただきたいと思います。

【委員】

大きな課題について、水道の説明はありましたが、下水道の方の大きな課題というのは何かあるのでしょうか。また、先ほどの仙台市の比較についてですが、確か仙台市は東日本大震災の時に処理施設が壊滅的になり、それを復興事業で国が全部面倒を見たので、料金に還元にならず、安いのかなと思うのですが、ご確認いただきたいです。あと、仙台市は雨水と汚水を一緒に流す合流式を、分流式にする工事をしていたと思いますが、どちらがメインなのかわかれば教えていただきたいです。

【事務局】

老朽化した管や耐震化していない管について、問題が出てきます。水道管と比べてかなり大きいもので、山形市では大きい口径のものは、比較的高い頻度で、道路の上から陥没などないか見たり、マンホールの中から監視したりすることもあります。そういった老朽化対策が今から重要になってくると思います。それには当然管が大きいので工事費もかかってくるということが、非常に今からの問題としてはあります。

山形市は汚水と雨水を分流して別の管で流していますが、雨水の整備はまだ途中です。大雨が降

った時に、汚水管に流れ、不明水となり、処理施設の方で処理しきれなくなります。雨水の混入対策なども今後必要になってきます。また浄化センターも老朽化してきて、更新の時期が近づいています。県の処理施設に流していった方が良いのではないかという考えもあり、今検討している最中です。浄化センターは機械設備から電気設備までお金がかかる施設なので、更新してしまうと、下水道使用料に跳ね返ってきてしまうことになるので、それが大きい課題としてあります。

仙台市の分流式の対応状況等は分かりません。全国的に合流式の下水処理については、自然環境に影響が大きいので、汚水は汚水、雨水は雨水というような分流式に変えようと、国では重点的に交付金を充てているところです。

【委員】

一般の人たちの会話の中で、料金が高いという話もありましたが、人口が少なくなって大変ということも皆分かっていて、納得しているようです。大口の企業を誘致することはまた別の話ですが、自治体によって制度が異なることを引っ越してくる人たちの話などで知りました。千葉などでは、水道料金と下水道料金は別々に支払いになるのです。このように、自治体によって料金体系や方法が異なるのだと感じています。また今年の夏は猛暑だったため、知事が「無理のない範囲で」という呼びかけの中、仕事中など、断水や節水などがなかったため、とても感謝しています。そして、このような会に参加させていただいたので、市報などで水道について見るようになっていきます。断水になったときに、どこで水をもらったら良いのか知らなかったということがありましたので、啓発活動が大変大切なのではないかと思います。

【委員】

山形新聞に大きく「水道料金は安全込みの値段」とあり、納得しています。私たちにとって毎日の生活に響くものなので、影響は小さくありません。料金は高いというのが正直な感想です。しかし、安全込みということや、今までのお話などで、それも仕方がないのかと思います。水道の耐震化率は69%というのも頑張っているのだなと応援したい気持ちでいます。やはりマスコミなどでも言っていたのですが、本当に壊れてから直すのは大変なんだろうと思いますので、今後とも計画的にしていだければと思います。これからも情報公開して、適正価格であれば、私たち消費者も納得できるので、本当に頑張ってくださいと思っています。

【委員】

私は山形市民間立保育園認定こども園協議会の方の代表で来させていただいているのですが、やはりそのとき、園長会の方から水道料金が高いと言われました。ですが今回、非常にわかりやすい形で資料を頂きましたので、また園長会で報告していきたいと思っています。

保育園では、子どもたちも水に触れるのが大好きで、水を使った遊びを今年の夏も気をつけながら、させていただきました。提案させていただいた出前講座の方も早速実現させていただき、本当にありがとうございます。水道のことについては、子どもたちにとっても、今から一生関わっていくことなので、小さいうちに少しでも興味を持って、お家の人と水道のことやお水のことを話していくというのが、すごく大事なのだということを、今回のアンケートの結果を見て、私も感じてい

ます。子どもたちが参加させていただくようになってから、市報なども家族で細かく見るようになってきました。一度給水車を見て話を聞いているので、職員も子どもたちにお水について意識して話をするようになってきたと感じます。年齢に関係なく、やはり大人も子どもも育てていくことが大切だと思いました。

【委員】

私たちは安心して、山形の水を使っています。私はここに来るまでは高いと思っていなくて、こういう値段かなと思っていました。ですが、今日見たら高い方から何番目などと書かれていたので、少し驚いたのですが、今まで安心して、山形の水はおいしいと思ってずっと使ってきましたので、これからもこのようにおいしい水を提供していただきたいと思います。

【委員】

本日は丁寧な説明をいただきまして、ありがとうございます。様々な将来の見込みを検討し、工夫しながら運営されているということをよく理解できました。私の方は少し懸念事項としまして、資産維持費という形で将来の更新のための確保をされているかと思いますが、材料の高騰や施設工事費の高騰等によって、想定よりも上がってくるかということです。これは山形市だけの問題ではなく、全国的な問題かと思います。そのあたりが今後、大きな課題になるのではないかと感じています。

【事務局】

資産維持費ですが、確かに資産維持費を見込むということは、更新する際の実勢価格で更新するために、上乗せされる費用だと考えています。やはりそこがないと、なかなか更新というのも進みません。物価高騰のしわ寄せは、お金が上がった分、耐震基準を短くするしかありません。そのような対応になっていかざるを得ないのですが、日本水道協会では資産維持費を目安として、対象資産の3%を料金に上乗せしなさいと言っています。料金に換算すると相当な上乗せになっています。やはり議会の方で議決を得ないと、料金の値上げはできませんので、どの事業体においても、資産維持費を上乗せする分は、なかなか難しい状況になっています。将来の更新に向けた部分について、きちんと料金に反映できるようにするということが課題と認識しています。あとは、かなり厳しい状況にはありますが、毎年決算状況を見まして、将来の財政見通しを毎年度作成し、事業を運営していて、現在の料金で最大の効果が生まれるような事業計画を作成しながら、運営している状況になります。

【座長】

私の方から一言だけですが、いつかの時点で値上げなどは避けられない方向だと私は思いました。今までの安全で安心な水を供給していただくので、それを続けていくためには、値上げせざるを得ない状況がなぜなのかを、きちんと市民の皆様が納得できるような形で伝えていくことが重要であると思いました。ぜひその点で、市民の皆様が納得できるような理解をしていただくための努力をお願いしたいと思います。

ほかに委員の皆様からご意見等はございますでしょうか。

何もないようですので、意見交換を終了し、座長としての任を解かせていただきます。円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

5 閉 会